

附近ニ於テ其解散ヲ命ジタリ、其際金子留次郎
五名ハ解散ノ命ニ服セザレテ以テ之レヲ三日署ニ檢束
シ午夜九時高山外最高部十二名ヲ公署ニ召致シ嚴
重警告ヲ加ヘ檢束者ヲ加諭放逐セリ(十日朝刊國民
新聞ニ檢束者ヲ奪還スル為メ老舅鐵工所罷業取ル公
署ニ押寄セ騷フトノ記事ハ葉根ニ付為念)
右及甲(通)報矣也

別記

一、八月二日(期日未定)間定休日ヲ是メ而シテ
本分工場各別ニ休息スルコト、シテ以テ當日出勤
シタル部ニ於テ示威運動ヲ為スベト
一、今後警察官憲ニ檢束セラレタル場合正々裁判
ヲ請ホスルニトシ即時花ノ用紙ニテ四百枚ヲ騰
寫板印刷トナシ一紙取テニ配布ス

正々裁判請ホノ申立書

住所

氏名

大正十二年 月 日 警察署ニ於テ拘留
日ニ為スヘキ旨言渡サレタレモ不服ニ付キ以テ